



第97回定時株主総会の概略

1. 開催日時 2024年6月26日(水) 午前10時00分
2. 場所 朝日放送グループホールディングス株式会社 ABCホール
3. 所要時間 68分
4. 出席株主数 136名
5. 事前質問状 0通
6. 質問株主数 11名
7. 質問 11問(事前にWEBで寄せられた質問3つを含む)
8. 議案について 3つの議案が全て賛成多数で承認可決されました。
第1号議案「剰余金の処分の件」
第2号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。)9名選任の件」
第3号議案「監査等委員である取締役4名選任の件」

<主な質問及びその回答要旨>

Q1. 資本コストや株価を意識した経営について

A1. 資本コストや株価を意識した経営については、当社も重要なテーマと認識している。資本コストについては全役員の意識を高め、取締役会で議論を行っており、株主のリターンを意識しながら事業を進める。PBR1倍割れに対しては、政策保有株式の売却による資産の有効活用、事業ポートフォリオ再編、収支構造の見直しなどを推進し、収益力向上を図り、中期経営戦略の達成を目指す。

Q2. DLE社株式の一部売却について

A2. 当社の保有するDLE社の株式85万株を市場で売却することにより持ち株比率が約49%となり、連結子会社から持分法適用会社となる見込みである。売却理由は、DLE社の機動的な経営体制の構築および、親子上場の解消であり、残存株式の取り扱いについて、決定している事項はない。DLE社との事業連携は今後も個別に判断し、企業価値を高める施策を継続的に検討する。

Q3. 全国ネットドラマについて

A3. ドラマコンテンツは国内外で高い需要があり、当社グループは成長の柱として注力している。昨年からは日曜夜10時枠で全国ネットドラマの制作を開始し、本格的に投資を進めている。制作費が高額という課題に対しては、適正な制作フローの構築を進めている。オリジナル作品による知的財産権の確保で長期的な収益性向上を図り、制作と販売の連携を強化して動画配信プラットフォームへのセールスや関連商品の展開を拡大し、収益性の向上を目指す。

Q4. 株価について

A4. 当社の株価はPBR1倍を割っており改善が急務である。中長期的な事業の成長と持続的な企業価値の向上が最大の目標であるが、短期的利益も併せて考慮し成長に繋げる。

Q5. 女性役員の育成方針について

A5. 弊社グループの女性の活躍、育成については計画的に進める必要がある。現在、テレビ社の新卒入社女性の割合は約50%であり、若手を中心に女性従業員の比率が増えている。今後、研修や様々な場を設け、次世代の女性執行役員を育成していく。

Q6. 株主優待施策について

A6. 株主様への優待施策については、頂いたご意見を踏まえ、番組の観覧や社屋の見学など、コンテンツを生業とする放送局らしい方法等も含め、様々な施策を検討していく。

Q7. 収益性改善に向けた対応について

A7. グループ会社各社含め、利益改善について取り組んでいる。グループの中核であるテレビ社では働き方改革、創り方改革を実施して利益率向上に取り組んでいる。これらの施策に加え、利益率の高い企業のM&Aなども積極的にチャレンジしていきたい。

Q8. ドラマ制作について

A8. 昨年、28年ぶりにプライム帯のドラマ制作を再開した。また、今年度4月クールでは、プライム帯初主演の役者を起用する等、昨年とは違うかたちでドラマ制作に取り組んできた。放送だけでなくコンテンツ事業も視野に置き、視聴者から選ばれて観られるドラマ作りをしていきたい。

Q9. ABCハウジングの顧客対応について

A9. ABCハウジングを運営するエー・ビー・シー開発株式会社は当社グループであるが、子会社の個別事象であるため、貴重なご意見として担当者に伝えさせていただく。

Q10. コンプライアンスとラジオ番組の製作について

A10. ABCラジオとしてはコンプライアンスを逸脱することなく、リスナーに楽しんでもらえるように取り組んでいく。

Q11. CGCGスタジオについて

A11. CGCGスタジオは設立時より台湾のCGCGスタジオと協力関係にあったが、現在関係はない。CGCGスタジオを子会社化したアニメ社も海外との取引があるところ、引き続き海外との取引については注意して取引していきたい。

なお、第97回定時株主総会における議決権行使結果については、6月27日(木)、EDINETを通じて金融庁に開示する他、当社ホームページにおいても開示しております。

以上